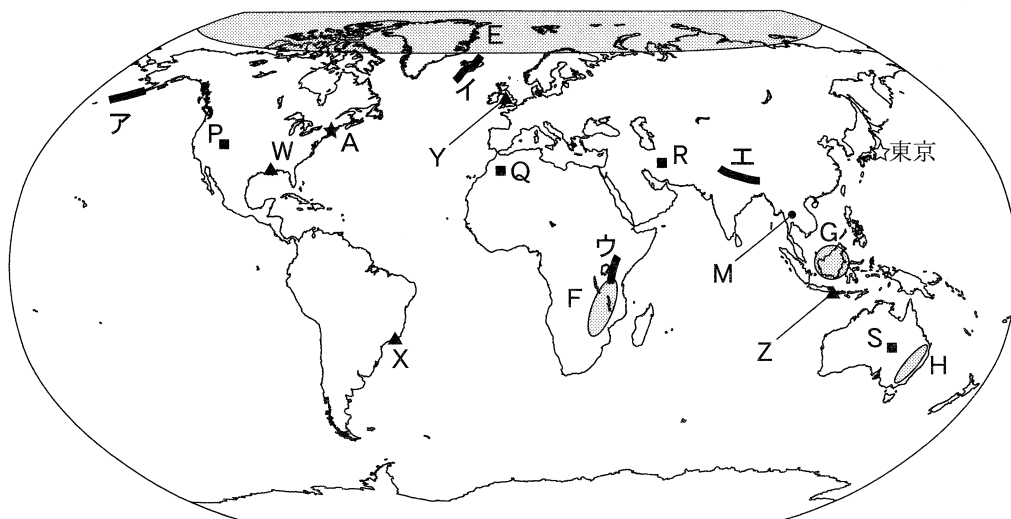


地 理 A

(解答番号 1 ~ 34)

第1問 次の図1を見て、地理の基礎的事項に関する下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)



NOAA の資料などにより作成。

図 1

問1 次のページの表1は、ある月における東京(成田)から図1中の地点Aに向かう直行便のフライトスケジュールを示したものである。表1から分かる東京と地点Aとの時差として最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。なお、サマータイム制度は考慮しない。 1

表 1

	現地時間	所要時間
東京(成田)発 ↓ 地点 A 着	11:30 ↓ 10:15	12 時間 45 分

『JTB 時刻表』により作成。

- ① 10 時間 ② 12 時間 ③ 14 時間 ④ 16 時間

問 2 図 1 中のア～エの線のうち、線上に火山が多く分布するものとして**適当でない**ものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問 3 図 1 中の E～H のいずれかの地域に生息し、絶滅が^{きぐ}危惧される動物について述べた文として下線部が**適当でない**ものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

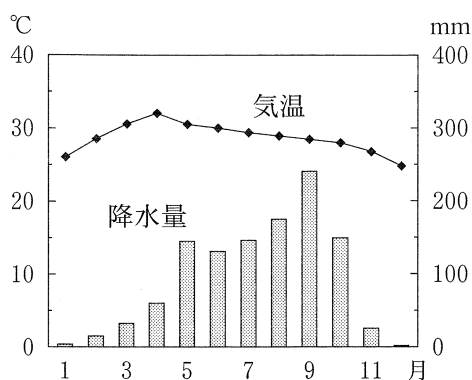
3

- ① E に生息するホッキョクグマは、気候変動にともなう海氷の融解により、生息域の縮小が懸念^{けねん}されている。
- ② F に生息するクロサイは、違法な乱獲にともなう個体数の減少が懸念されている。
- ③ G に生息するオランウータンは、森林伐採にともなう生息域の縮小が懸念されている。
- ④ H に生息するコアラは、酸性雨にともなう森林面積の縮小により、個体数の減少が懸念されている。

地理 A

問 4 次の図 2 は図 1 中の地点 M における月平均気温と月降水量を示したものである。地点 M 周辺にみられる代表的な自然植生として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

4



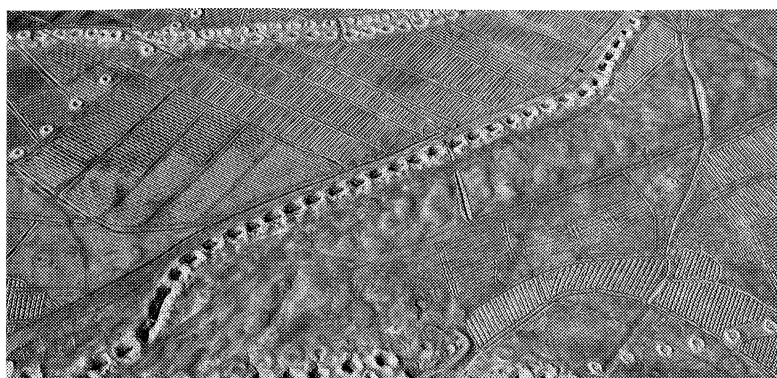
気象庁の資料により作成。

図 2

- ① 乾燥が厳しく植物がほとんどみられない裸地(砂漠)
- ② 乾燥気候にみられる草原(ステップ)
- ③ 乾燥に対応して落葉する広葉樹林(雨緑林)
- ④ 乾燥に強い幹や葉をもつ常緑広葉樹林(硬葉樹林)

問 5 次ページの写真 1 は、乾燥地域で使用されている灌漑施設(かんがい)を撮影したものである。図 1 中の P ～ S の地域のうち、このような灌漑施設がみられる地域の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

5



縦穴の底はつながっており，地下水路となっている。

写真 1

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ① PとQ | ② PとR | ③ PとS |
| ④ QとR | ⑤ QとS | ⑥ RとS |

問 6 次の写真 2 は，図 1 中の W～Z のいずれかの地点を発祥地とする音楽の演奏風景を撮影したものである。この音楽の発祥地として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 6



20 世紀初めから発展した音楽で，西洋音楽とアフリカ音楽の組合せによって生まれた独特の響きやリズムが特徴。

写真 2

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ① W | ② X | ③ Y | ④ Z |
|-----|-----|-----|-----|

地理 A

問 7 次の表 2 は、いくつかの地域におけるイスラーム(イスラム教)、カトリック、プロテスタント、ヒンドゥー教の人口割合を示したものであり、①～④はアジア、アフリカ、北アメリカ、ヨーロッパのいずれかである。アフリカに該当するものを、表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

7

表 2

(単位：％)

宗教・宗派名	①	②	③	④
イスラーム	41.6	26.2	5.7	1.5
カトリック	17.8	3.3	37.6	25.0
プロテスタント	13.5	2.1	9.1	16.9
ヒンドゥー教	0.3	22.6	0.2	0.5

TIME Almanac 2013 により作成。

問 8 次の図 3 は、2 万 5 千分の 1 地形図を一部改変して、ある島の地形の様子を示したものであり、下の図 4 は図 3 中の①～④のいずれかの海面上の地点から見た島の形を示したものである。図 4 に示された島の形を見ることができる地点として最も適当なものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。ただし、高さは強調して表現してある。

8

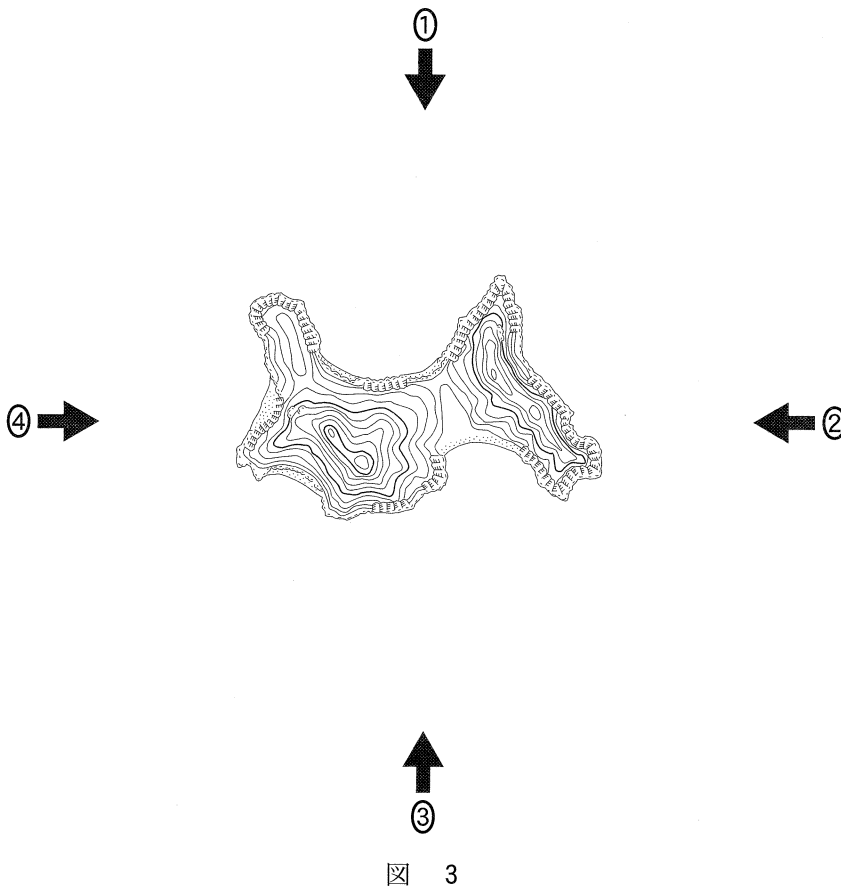


図 3



図 4

地理 A

第 2 問 国境を越えた様々な結びつきに関する次の問い(問 1 ～ 7)に答えよ。

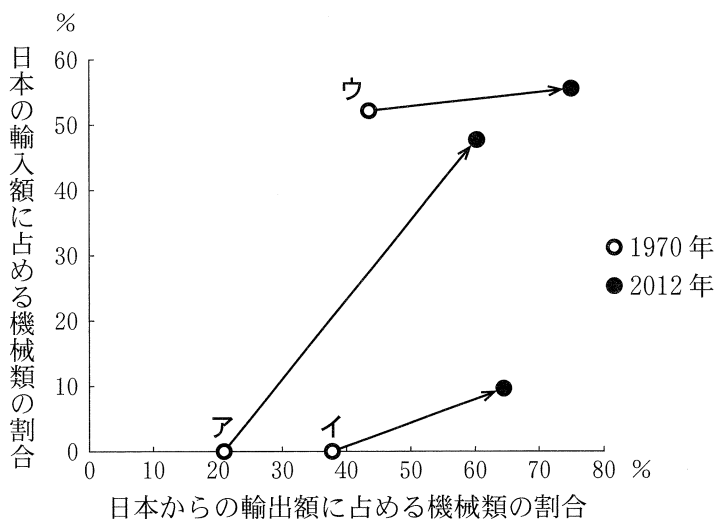
(配点 21)

問 1 次の図 1 は、日本のいくつかの貿易相手国について、1970 年と 2012 年における日本からの輸出額に占める機械類の割合と日本の輸入額に占める機械類の割合を示したものである。図 1 中のア～ウは、インドネシア、中国*、ドイツ**のいずれかである。国名とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

9

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

**1970 年は旧西ドイツと旧東ドイツを合わせた値。



財務省の資料により作成。

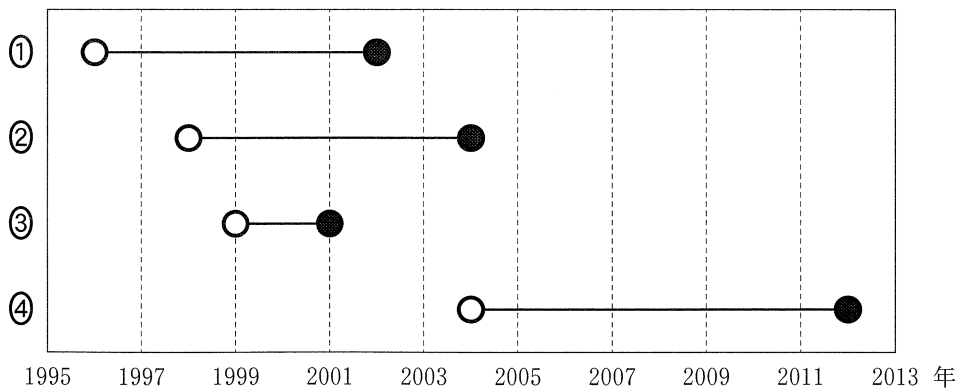
図 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
インドネシア	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
中国	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ドイツ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 1980 年代以降の日本企業の海外進出について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 安価で豊富な労働力を求めて、アジア各国で部品や製品の組立てを行う国際分業が進んだ。
- ② 世界的な金融センターを形成するため、金融業を中心としたサービス業が中国の経済特区に進出した。
- ③ 高い技術力をいかして、発展途上国でインフラ整備を請け負う建設業が増加した。
- ④ 貿易摩擦を契機として、アメリカ合衆国において自動車産業の現地生産が増加した。

問 3 次の図 2 は、いくつかの国におけるインターネットの普及動向を示したものであり、①～④は、アメリカ合衆国、韓国、日本、ロシアのいずれかである。○はインターネット普及率が 10 % を超えた時点を、●は 50 % を超えた時点をそれぞれ示している。韓国に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 11



ITU, *World Telecommunication / ICT Indicators Database* により作成。

図 2

地理 A

問 4 次の図 3 は、日本の航空会社による東京*発の国際線の直行便がある都市について、東京からの方位と所要時間を示した分布図を 4 分割したものである。

図 3 中の①～④は、下の図 4 中の A～D のいずれかの位置に回転せずに当てはまる。C に該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 12

*成田空港と羽田空港。

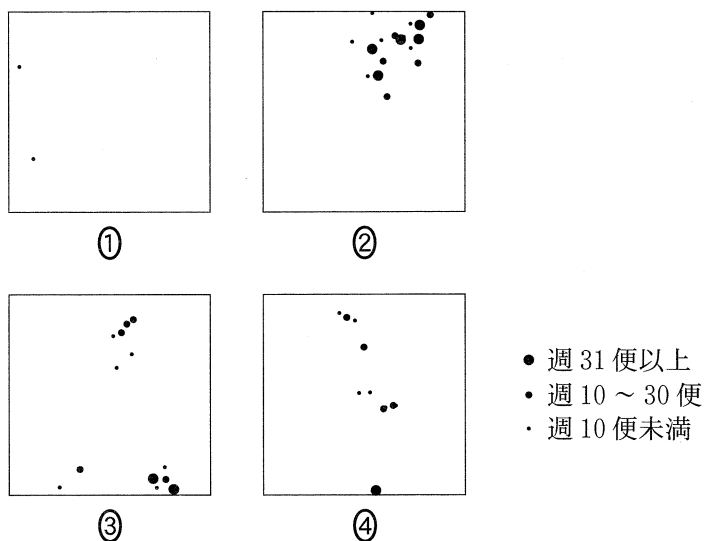
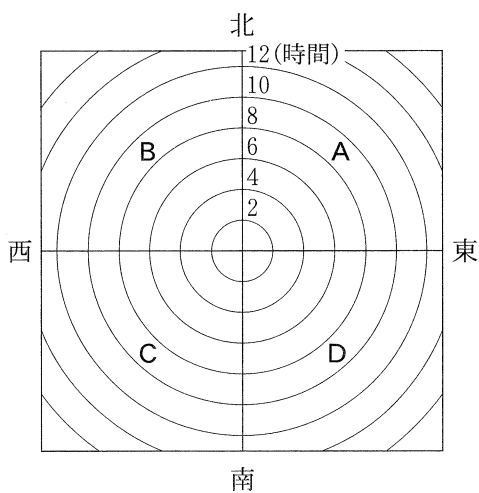


図 3



『JTB 時刻表』により作成。

図 4

問 5 次の表 1 は、いくつかの国における国際旅行収支*とヨーロッパからの国際旅行者数を示したものであり、カ～クは、エジプト、オーストラリア、日本のいずれかである。カ～クと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

*外国人旅行者が国内で使用した金額から、自国の旅行者が外国で使用した金額を差し引いたもの。

表 1

	国際旅行収支 (百万ドル)	ヨーロッパからの 国際旅行者数(万人)
カ	8,816	942
キ	6,405	136
ク	-22,251	82

統計年次は 2009 年。

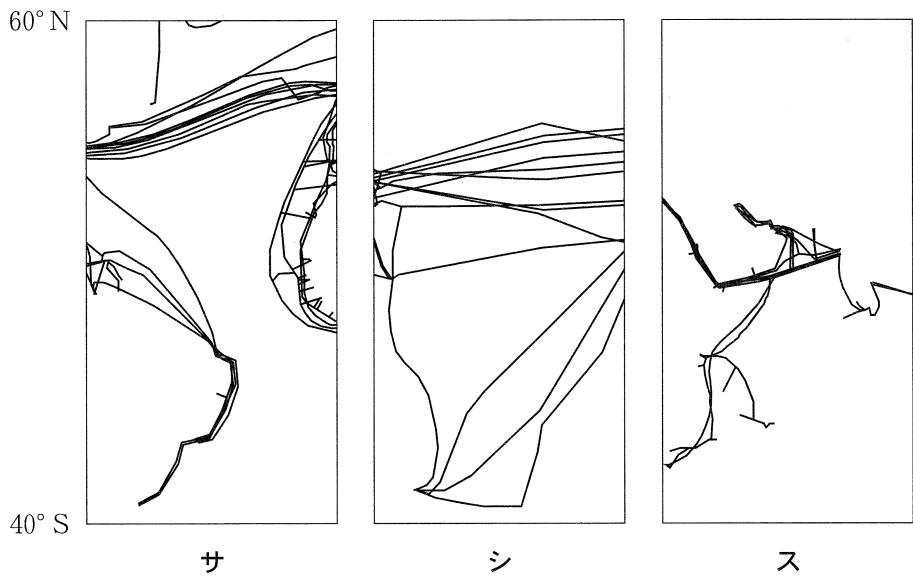
UNWTO, *Yearbook of Tourism Statistics* などにより作成。

	カ	キ	ク
①	エジプト	オーストラリア	日 本
②	エジプト	日 本	オーストラリア
③	オーストラリア	エジプト	日 本
④	オーストラリア	日 本	エジプト
⑤	日 本	エジプト	オーストラリア
⑥	日 本	オーストラリア	エジプト

地理 A

問 6 次の図 5 は、インド洋、大西洋、太平洋における主な海底ケーブル網を、経度幅 60 度の範囲でそれぞれ切り取って示したものであり、サ～スは下の L ～ N の経度帯のいずれかである。サ～スと L ～ N との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

14



Greg's Cable Map などにより作成。

図 5

- L インド洋 (東経 30 ～ 90 度)
- M 大西洋 (西経 70 ～ 10 度)
- N 太平洋 (東経 140 度 ～ 西経 160 度)

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	L	L	M	M	N	N
シ	M	N	L	N	L	M
ス	N	M	N	L	M	L

問 7 国家間の結びつきに関する 1990 年代以降の変化について述べた文として下線部が最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 経済のグローバル化によって、非英語圏諸国による音楽などの文化的発信力が弱まった。
- ② 国際経済・金融の不安定化によって、多くの途上国で共通に使用可能な新たな通貨が導入された。
- ③ 地球温暖化問題の深刻化によって、国際的な枠組みで対策をすすめる条約が採択された。
- ④ 民族紛争や国境紛争の増加によって、紛争解決のための軍事機構が相次いで設立された。

地理 A

第3問 次の図1を見て、東アジアに関する下の問い(問1～7)に答えよ。

(配点 21)

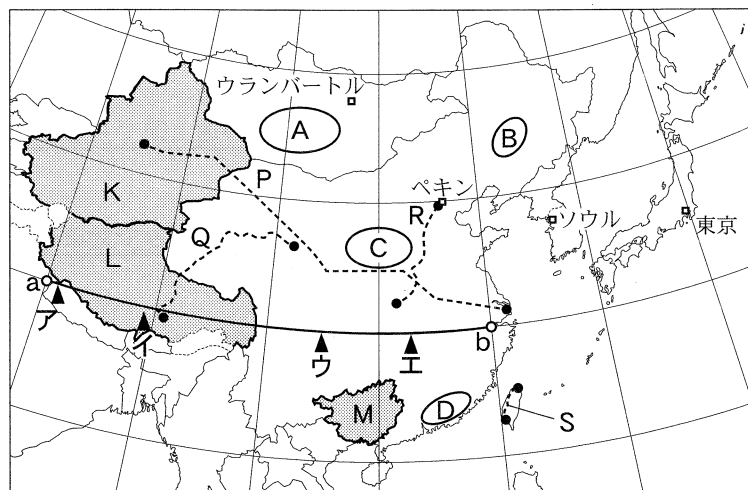


図 1

問1 次の図2は、図1中の線(a～b)に沿った地形断面図であり、図2中のア～エは、図1に対応している。図2にかかわる内容について述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。ただし、高さは強調して表現してある。

16

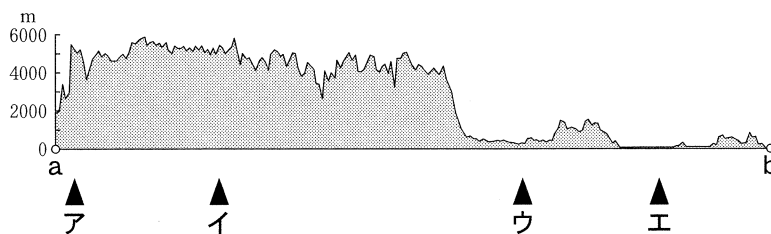
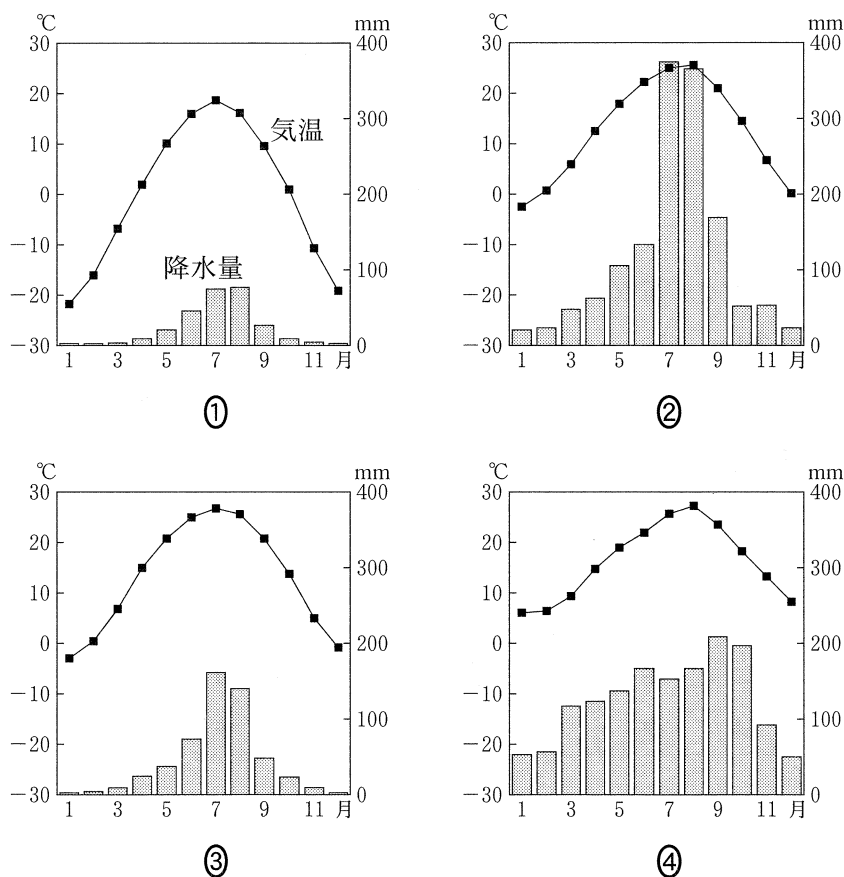


図 2

- ① ア付近には、プレート境界に形成された大山脈がみられる。
- ② イは、中国最大の高原に位置する。
- ③ ウ付近には、大河の上流域に形成された盆地がみられる。
- ④ エは、大河の下流域まで連なる侵食平野に位置する。

問 2 次の図 3 中の①～④は、図 1 中のウランバートル、ソウル、東京、ペキン
いずれかの地点における月平均気温と月降水量を示したものである。ソウルに
該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 17



『理科年表』により作成。

図 3

地理 A

問 3 図 1 中に示した A～D の地域でみられる主要な農牧業について説明した文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① A 地域では、馬やヤギなどの放牧がみられる。
- ② B 地域では、畑作が行われ、トウモロコシや大豆の生産が多い。
- ③ C 地域は、小麦や米が多く生産される穀倉^{こくそう}地帯となっている。
- ④ D 地域は、水稻の二期作が盛んな地帯となっている。

問 4 次のカ～ク の文は、図 1 中の K～M で示されたいずれかの自治区を主とする中国の少数民族について述べたものである。K～M とカ～ク との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

カ 中国の少数民族の中では最も人口が多く、生活には仏教や道教の影響がみられる。

キ 羊やヤクの遊牧がみられ、独自の発展を遂げた仏教にもとづいて生活する人が多い。

ク 文字の表記にはアラビア文字をもとにした字体が主に使われているが、漢語を話す人も増えている。

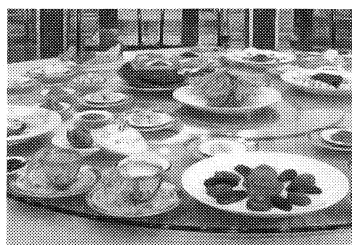
	①	②	③	④	⑤	⑥
K	カ	カ	キ	キ	ク	ク
L	キ	ク	カ	ク	カ	キ
M	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 5 東アジアは、箸^{はし}を使う文化圏であるが、各国には独自の食事の仕方もある。

次の写真 1 中のサ～スは、韓国、中国、日本のいずれかの食事の様子について、各国の特徴的な食べ物の配置と食べ方の作法を示したものである。サ～スと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

20

サ



大皿料理には取り箸がなく、自分の箸を使って、直接おかずをとって食べる。

シ



おかずが小皿に盛られ、金属製の箸と匙^{さじ}が縦に置かれる。ご飯や汁類を食べる時には匙を用いる。

ス



膳^{ぜん}を使って、ひとりずつ配膳される。ご飯を食べる時は、食器を手に持ち、箸を使う。

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	韓国	韓国	中国	中国	日本	日本
シ	中国	日本	韓国	日本	韓国	中国
ス	日本	中国	日本	韓国	中国	韓国

地理 A

- 問 6 東アジアの国・地域は、世界の貿易においても重要な位置を占めるようになってきている。表 1 中の①～④は、韓国、中国*、日本、ホンコンのいずれかであり、それぞれの国・地域の輸出額が世界全体の輸出額に占める割合と、それぞれの国・地域の GDP に対する比(GDP を 100 とする)を示したものである。韓国に該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 21

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 1

	世界全体の輸出額に 占める割合(%)	GDP に対する比
①	10.5	26.5
②	5.1	14.0
③	3.1	46.0
④	2.6	174.0

統計年次は 2010 年。

『国際連合 貿易統計年鑑』などにより作成。

- 問 7 東アジアでは、様々な国土開発が行われている。図 1 中の破線 P～S は鉄道やパイプラインなど輸送にかかわる経路を示したものである。P～S を説明した文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① P は、^{せい き とう ゆ}西気東輸事業のパイプラインであり、内陸の豊富な地下資源を東部の工業地域に輸送するものである。
- ② Q は、内陸の都市を結ぶ鉄道であり、西部大開発の一環として敷設されたものである。
- ③ R は、^{なんすいほくちよう}南水北調事業の引水路であり、工業用の水力発電用水の確保を主目的とするものである。
- ④ S は、台湾の主要都市を結ぶ高速鉄道であり、海外から多くの技術を導入し、建設されたものである。

地理 A

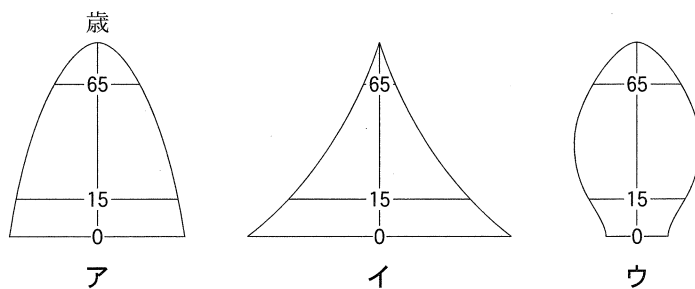
(下 書 き 用 紙)

地理 A の試験問題は次に続く。

地理 A

第 4 問 地球的課題と国際協力に関する次の問い(問 1 ～ 5)に答えよ。(配点 16)

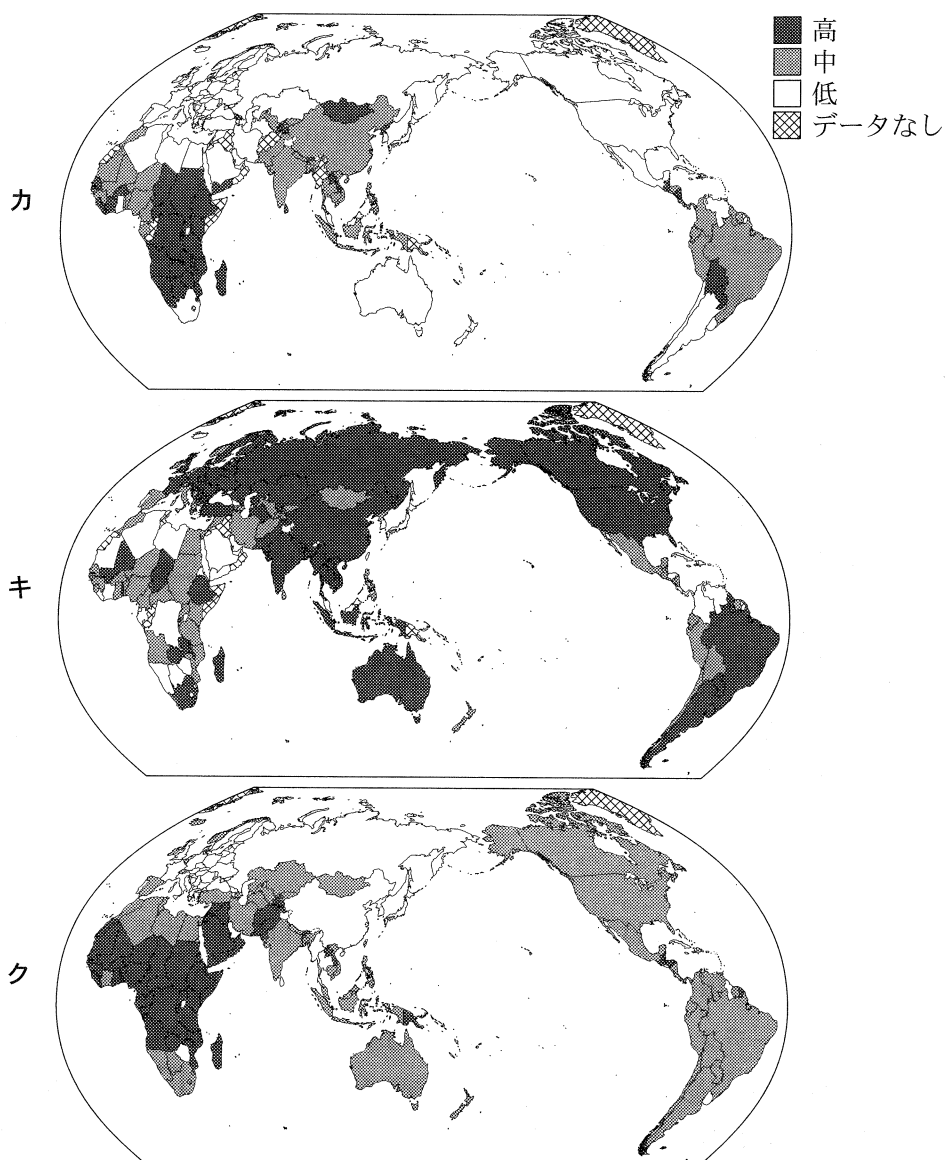
問 1 次の図 1 中のア～ウは、人口の年齢構成を模式的に示した人口ピラミッドである。図 1 に関連したことがらについて述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23



- ① アは、イに比べて、出生率が低い傾向にある。
- ② ウは、イに比べて、乳児死亡率が高い傾向にある。
- ③ アからイへの変化は、19 世紀以降、世界の多くの国でみられてきた。
- ④ イからウへの変化は、近年、発展途上国で多くみられる。
- 問 2 次のページの図 2 中のカ～クは、栄養不足人口率、穀物自給率、人口増加率のいずれかの指標について、国・地域別にその高低を示したものである。指標名とカ～クとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

24

地理A



統計年次は、栄養不足人口率が2011年、穀物自給率が2009年、人口増加率が2005～2010年。

World Population Prospects などにより作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
栄養不足人口率	カ	カ	キ	キ	ク	ク
穀物自給率	キ	ク	カ	ク	カ	キ
人口増加率	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理 A

- 問 3 高校生のカナさんはある一日の食事に関連して、食料問題について調べてみた。カナさんがまとめた次の文章中の下線部①～⑥のうちから、適当でないものを二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。
- 25 26

朝食ではマグロの角煮をおかずにご飯を食べた。①日本では独自の資源管理により遠洋漁業の漁獲量が近年増加していることが分かった。また、②日本政府の政策によって米の高い自給率が保たれてきたことを知った。

昼食はファストフードのチェーン店で食べた。ハンバーガーなどで用いられる肉の生産には③穀物が大量に必要とされるため、肉消費の増加は世界の食料の安定供給に関わる不安材料となっていることが分かった。また、日本で消費されている④コーヒー豆の多くが、フェアトレードによって生産・流通していることを知った。

夕食は冷凍エビフライを調理して食べた。⑤東南アジアではエビの養殖池造成のために、マングローブ林が減少してきたことを知った。⑥海外での食料の生産・加工が増えたことで、日本では食の安全性の確保が課題となっていることが分かった。

- 問 4 次ページの表 1 は、いくつかの国における合計特殊出生率*、女性の労働力率**、女性国会議員の割合を示したものであり、①～④は、サウジアラビア、スウェーデン、日本、フィリピンのいずれかである。フィリピンに該当するものを、次ページの表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。
- 27

*女性 1 人が生涯に産む子どもの数に相当する。

**生産年齢人口に対する就業者と失業者の合計の割合。

表 1

	合計特殊出生率	女性の労働力率 (%)	女性国会議員の割合 (%)
①	3.1	52	22
②	2.8	21	0
③	2.0	77	45
④	1.4	63	11

統計年次は、合計特殊出生率が 2010 年、女性の労働力率と女性国会議員の割合が 2011 年。

World Development Indicators などにより作成。

問 5 日本の政府や政府関係機関が実施している国際協力について述べた文として
下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 東南アジアやアフリカの農村において、灌漑施設かんがいの建設や農業技術指導を行っている。
- ② 東南アジアや南アジアでの津波や洪水への対策として、堤防の建設や啓発活動の支援を行っている。
- ③ 西アジアやアフリカで発生した難民に対して、日本に受け入れて職業訓練や教育支援を行っている。
- ④ 南アメリカやアフリカで発生した環境汚染に対して、日本の知識・技術の伝達や調査研究の支援を行っている。

地理 A

第5問 高校生のアヤネさんは、北海道の富良野市とその周辺地域の歴史や観光に興味をもち、次の図1の20万分の1地勢図(原寸、一部改変)で示された範囲の地域調査を行うことにした。この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 18)

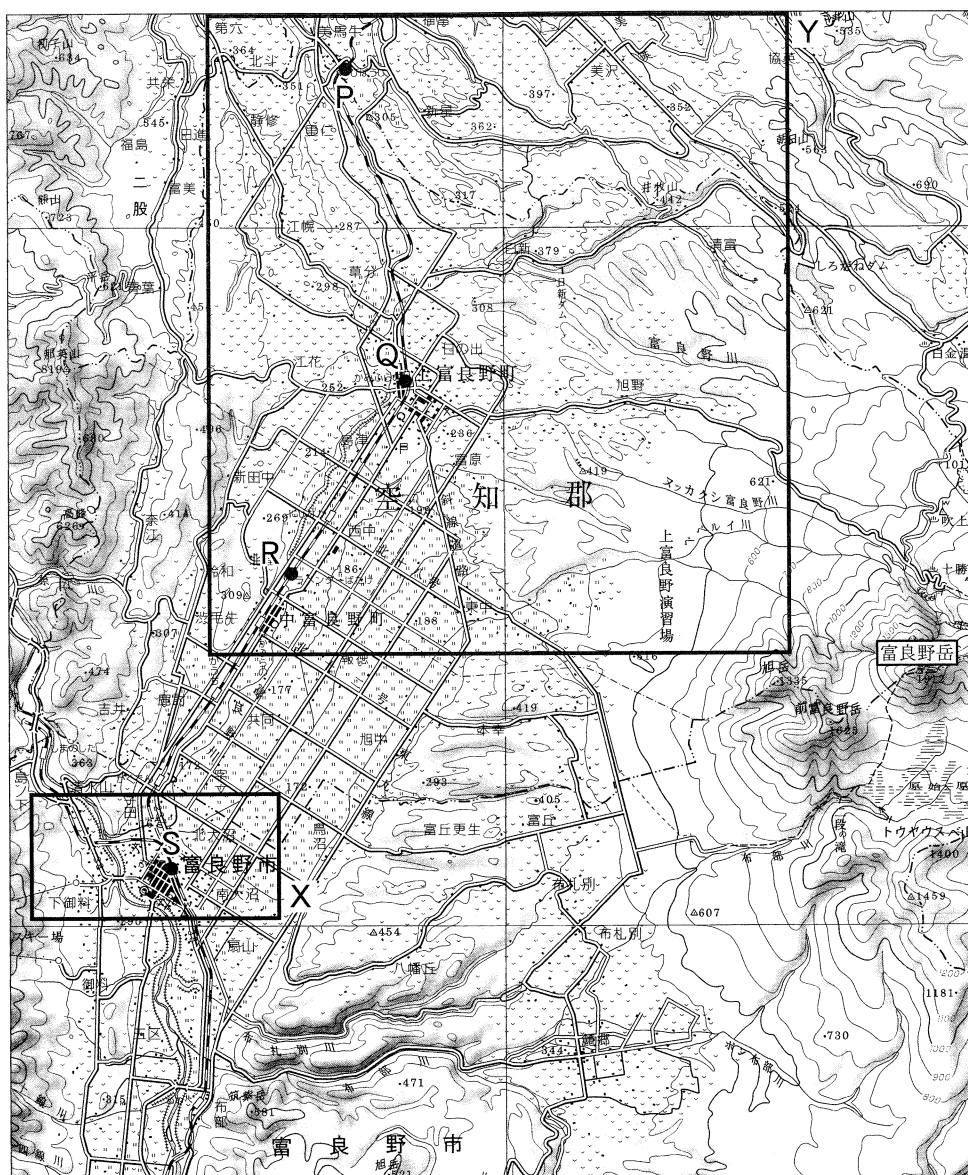


图 1

問 1 アヤネさんは、JR 富良野線の列車に乗り、図 1 中の P 駅から S 駅に向かって移動し、車窓から東側の景観を観察した。その景観を説明した文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① P 駅を出発すると、Q 駅まで連続して市街地が見えた。
- ② Q 駅と R 駅の間では、^{ふらのだけ}富良野岳の斜面が見えた。
- ③ R 駅への到着直前に、駅前の市街地や公共施設が見えた。
- ④ R 駅と S 駅の間では、一面に広がる果樹園が見えた。

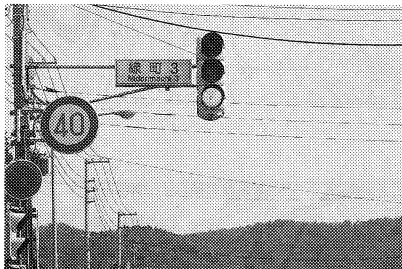
問 2 次の写真 1 中の①～④は、この地域の気候に対応した生活のあり方に関心をもったアヤネさんが、様々な場所で撮影したものである。主に積雪に対応したものとして適当でないものを、次の写真 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

30



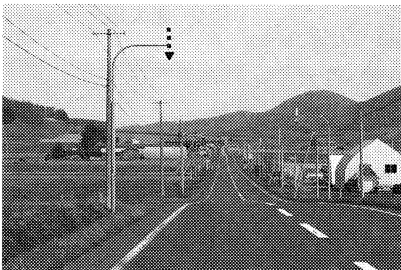
上部に太陽電池が付いた時計

①



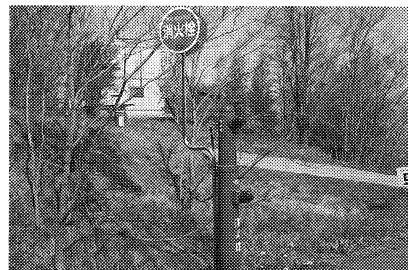
縦型の信号機

②



道路の境界を示す標識

③



ホース取り付け部の位置が高い消火栓

④

写真 1

地理 A

問 3 アヤネさんは、富良野市の土地利用変化を調べるために新旧地形図の比較を行うことにした。次の図 2 は、図 1 中の X の範囲における 1921 年と 2004 年に発行された 5 万分の 1 地形図(原寸、一部改変)である。図 2 から読み取れるこの地域の変化について述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

31

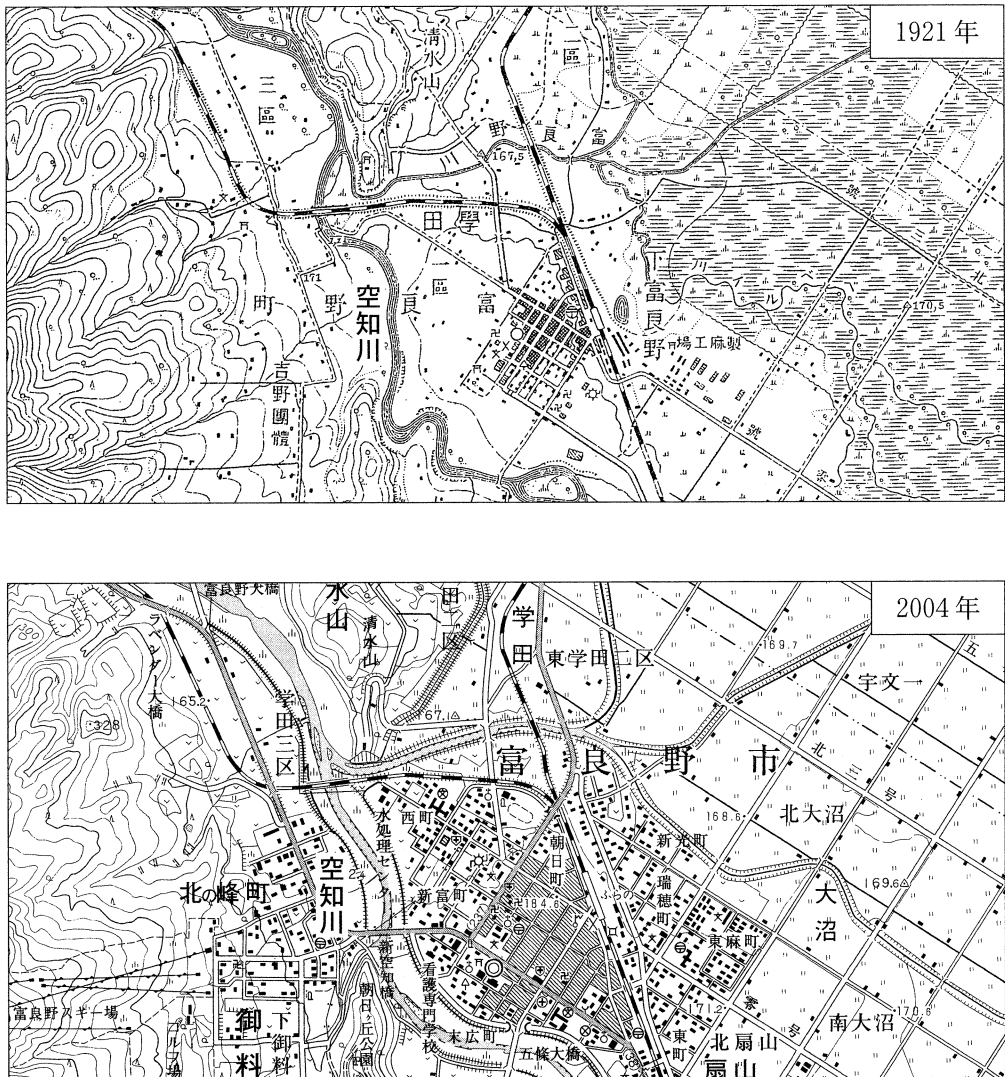


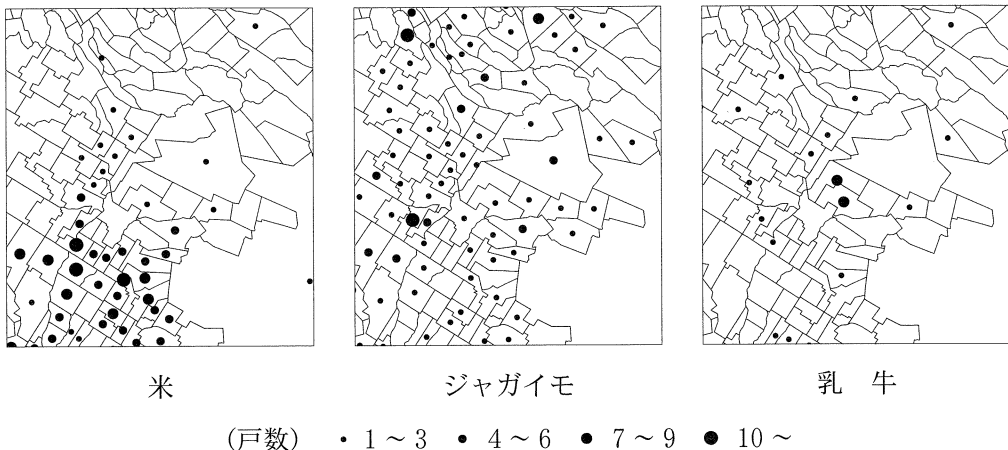
図 2

地理 A

- ① 市街地は鉄道駅に接して形成されていたが、その周辺に主要な公共施設がつくられ、駅西側を中心に市街地が拡大した。
- ② 空知川が改修され、旧河道の一部を活用して鉄道や郵便局が新たに^{そらちがわ}つくられた。
- ③ 空知川西岸の「吉野^{よしのだんたい}團體」と記された開発地とその周辺には、宅地やスキー場、ゴルフ場などがつくられた。
- ④ 東部の格子状の区画では、かつては湿地の状態であったものが、排水などが行われて水田となった。

地理 A

問 4 地域の農作物や乳製品を利用したご当地カレーを食べたアヤネさんは、富良野地域の農業に関心をもち、統計資料を収集した。次の図 3 は、図 1 中の Y に示された範囲における米、ジャガイモ(馬鈴薯^{ばれいしょ})、乳牛の集落別の農家の戸数を示している。戸数の分布とその背景に関して説明した文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32



統計年次は 2010 年。
農林業センサスにより作成。

図 3

- ① 米は、北海道特有の気候条件に対応した新たな品種が開発され、盆地を中心に農家が分布している。
- ② ジャガイモは、大規模な灌漑施設^{かんがい}を必要としないことから、ほとんどの農家は丘陵地に分布し、盆地にはみられない。
- ③ 乳牛を飼養する農家は、戸数が少なく、山麓^{さんろく}の緩斜面や丘陵地を中心に分布している。
- ④ 農業に適さない土地や、自衛隊^{かみふらの}の上富良野演習場があるため、米、ジャガイモ、乳牛に共通して農家が少ない場所が存在する。

問 5 アヤネさんは、富良野地域において森林開発が大きな役割を果たしてきたことを知り、地元の博物館をたずねた。アヤネさんと博物館の学芸員との会話文中の空欄サとシに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

アヤネ 「富良野には多くの森がありますね。その特徴は何ですか」

学芸員 「冷帯(亜寒帯)に属するこの地域では、針葉樹と(サ)の混交林(混合林)に広く覆われ、その樹種の構成をいかし、森がもつ再生力を活用した林業を行っています。また間伐材の活用なども注目されています」

アヤネ 「日本の林業は今も盛んですか」

学芸員 「日本の木材需給の推移を示した表 1 をみると、近年の木材自給率は(シ)傾向がみられます。なお、林業就業者数は全国的に減少していますが、北海道においては増加しており、都道府県別の木材生産量も北海道が最も多く、重要な産業の一つです」

表 1

(単位：千 m^3)

	国内生産量	国内消費量	輸出量	輸入量
2002 年	16,920	89,195	568	72,844
2012 年	20,318	70,769	1,420	51,870

農林水産省の資料により作成。

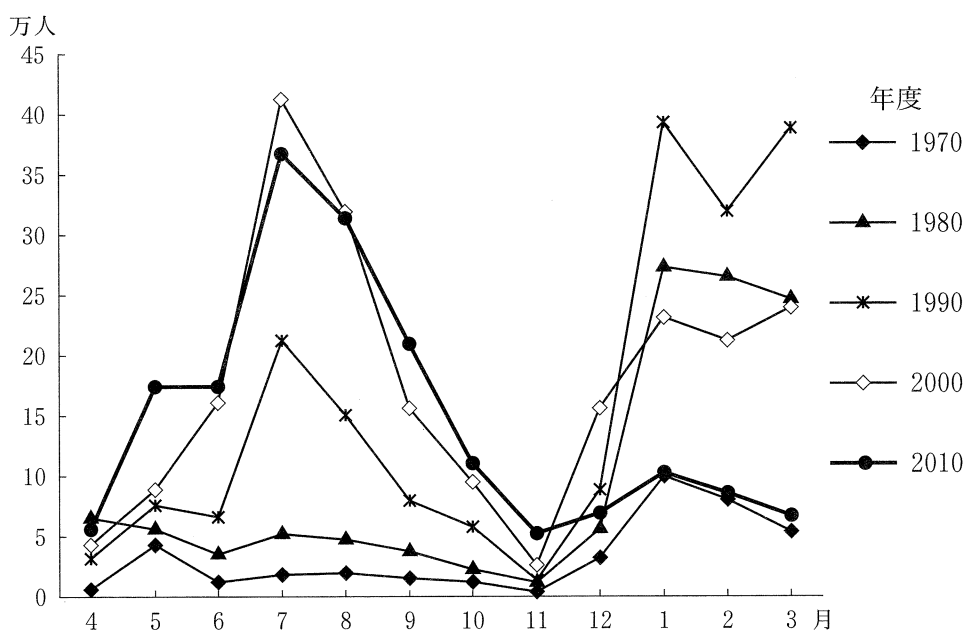
	サ	シ
①	常緑広葉樹	上 昇
②	常緑広葉樹	低 下
③	落葉広葉樹	上 昇
④	落葉広葉樹	低 下

地理 A

問 6 富良野地域における多様な観光資源のあり方に関心をもったアヤネさんは、月別観光客数の推移について富良野市役所で統計資料を入手し、図 4 を作成した。この地域の観光に関連したことがらをまとめた表 2 も参考にしながら、図 4 から読み取れる富良野市の年度ごとの夏季・冬季*の観光客数の傾向と、その背景に関して説明した文の下線部が適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

34

*夏季は 7～9 月，冬季は 1～3 月。



富良野市商工観光課の資料により作成。

図 4

表 2

1976 年：国鉄(現在の JR)のカレンダーに、夏のラベンダー畑が掲載
 1977 年：富良野スキー場でスキークラシック開催
 1981 年：富良野を舞台としたドラマ「北の国から」シリーズ放送開始
 2005 年：富良野を舞台としたドラマ「優しい時間」放送

地理 A

- ① 1970 年度には、冬季にピークがみられたが、1980 年度にはスキー観光を中心として、冬季のピークが顕著になった。
- ② 1990 年度には、ラベンダー観光の地域への広がりにより、冬季とともに夏季にピークが現れた。
- ③ 2000 年度には、スキー観光客の減少やさらなるラベンダー人気の高まりにより、夏季の観光客数の合計が冬季の 2 倍以上となった。
- ④ 2010 年度には、新たな観光資源の開発や誘致策もあり、冬季・夏季以外のいくつかの月における観光客数が増加する傾向がみられた。